

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名【新】被害情報集約システム改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 災害対策係 電話番号：058-272-1111(内2843)

地域支援係 電話番号：058-272-1111(内2841)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,518千円 (前年度予算額： 0千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 5,518 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,518 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

<国次期総合防災情報システムとの連携>

災害対応を行うにあたり、関係機関から避難の状況や被災箇所、通行規制状況などの様々な情報を県被害情報集約システムにより収集し、GIS地図に表示しているが、電気や通信等のライフライン等の面的な被害状況は各事業者のHP等で確認し、災害対策本部に備え付けてある地図にそのエリア等を記載することで災害対策本部に参集している要員と情報共有を行っている。

頻発化・激甚化する自然災害に迅速かつ効率的に対応するためには、幅広い被害情報の迅速な収集及び災害対応にあたるすべての関係機関との情報共有が必要不可欠である。

(2) 事業内容

<国次期総合防災情報システムとの連携>

国は令和6年度から次期総合防災情報システムの運用を開始し、災害対応にあたる関係機関から被害情報を収集したうえで、集約したデータを地図化して関係機関のシステムに配信する取組みを始める。

これを受け、県被害情報集約システムを次期総合防災情報システムと連携させるためのシステム改修を行い、国が収集する災害情報を自動取得するとともに、取得した災害情報を県システム内のGIS地図に反映させることで、災害対応にあたる関係機関との連携のもとでの救助活動や物資輸送等の災害対応の迅速化・効率化を図る。また、県の被害情報を国システムを通じて関係機関に提供することにより、県内での大規模災害発生時に広域的な連携のもとでの迅速かつ効率的な災害対応が可能な環境を構築する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10 (県が使用する情報システムの改修であるため)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-------|---------------|
| 委託料 | 5,518 | 被害情報集約システムの改修 |
| 合計 | 5,518 | |

決定額の考え方

| |
|--|
| |
|--|

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

<国次期総合防災情報システムとの連携>

岐阜県地方防災計画において、各機関が入手した被害情報等をリアルタイムで共有化し、迅速的確な応急対策を実施することのできる情報システムの整備、活用を図ることとされている。

(2) 国・他県の状況

<国次期総合防災情報システムとの連携>

国は令和6年度から次期総合防災情報システムの運用を開始し、災害対応にあたる関係機関から被害情報を収集したうえで、集約したデータを地図化して関係機関のシステムに配信する取組みを始める。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
令和6年度中に、県被害情報集約システムの改修を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R4年度 実績 | R5年度 実績 | R6年度 目標 | 終期目標 (R) | 達成率 |
|-----|--------------|------------|------------|------------|-------------|-----|
| | | | | | | |

○指標を設定することができない場合の理由

単年度で行うシステムの改修事業であるため、指標の設定になじまない。

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|--|
| 令和3年度 | |
| 令和4年度 | |
| 令和5年度 | |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|---|--|
| <p>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p> | |
| (評価) | <p><国次期総合防災情報システムとの接続> 自然災害が激甚化する中、県システムのGIS地図上に災害情報を自動的に統合させることで、視覚的かつ迅速な状況把握や、関係機関との円滑な情報共有が可能となる。</p> |
| 3 | |
| <p>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p> | |
| (評価) | |
| <p>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p> | |
| (評価) | |

(今後の課題)

| |
|---|
| <p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <国次期総合防災情報システムとの接続> 頻発化、激甚化、局地化する豪雨災害や、近い将来発生が懸念される南海トラフ地震等に対し、改修により追加した機能を十分活用できるよう操作習熟を図る必要がある。</p> |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <国次期総合防災情報システムとの接続> 国システムで随時連携可能となった情報項目について、県システムと連携を進めていく。</p> |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------------------|-------|
| <p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p> | 【〇〇課】 |
| <p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p> | |